

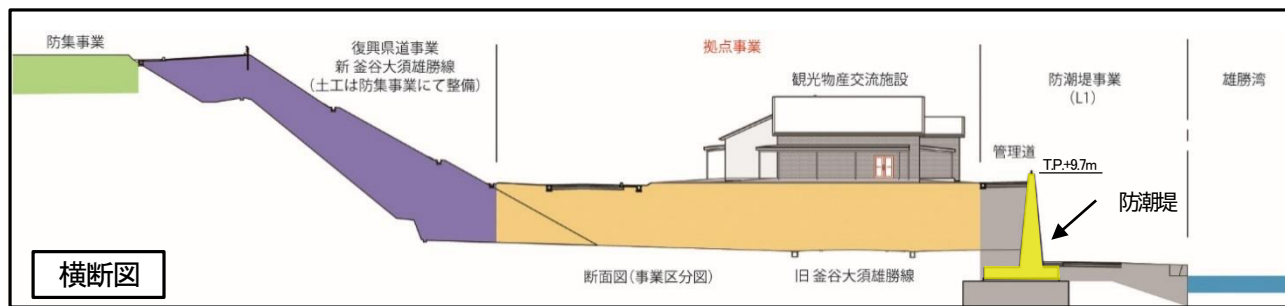
令和5年度全建賞 推 薦 調 書
インフラ整備の事業又は施策の部(インフラの部)

ふ り が な	おがつぼうちようていさいがいふっきゅうじぎょう
1. 事業(施策)の名称	雄勝防潮堤災害復旧事業
2. 事業(施策)実施期間	平成28年7月6日 ~ 令和5年1月31日
3. 事業費(工事費)	6, 611百万円
4. キーワード	まちづくりとの連携、地域の活性化
5. 事業概要	海が見える高台に防災集団移転用地や公益施設、交流スペース等を整備するまちづくりとの一体整備を図った防潮堤災害復旧事業

6. アピールする事業又は施策の「手段」と「秀でた成果」		
ハード or ソフトの分類 :該当する方に○印	① ハード面 に秀でた事業	② ソフト面 に秀でた取組
アピールする 1)「手段」	(a) 事業連携による一体整備 (c) 津波から背後地を守る防潮堤整備 (c) 化粧型枠の採用	(b) 学識経験者及び地元の石巻市や県の関係機関で構成する「石巻復興まちづくり推進会議雄勝地域実務者会議」においてまちづくり計画を策定
アピールする 2)「秀でた成果」	(f) 防潮堤とまちづくりとの一体整備による賑わいの創出・地域活性化 (a) 数十年から百数十年に一度の比較的頻度の高い津波に対応する防潮堤の整備 (e,k) 良好な景観形成の実現と施工合理化	(e,f) まちづくり計画に基づき、防潮堤の直背後の高台の土地に公益施設や交流スペース等を整備したことによる海が見える景観の確保と賑わいの創出・地域活性化

7. 特にアピールしたい点
<p>【防潮堤とまちづくりとの一体整備による被災地域の賑わいの創出・地域活性化への寄与】 雄勝地区の復旧・復興にあたり、学識経験者及び地元の石巻市や県の関係機関で構成する「石巻復興まちづくり推進会議雄勝地域実務者会議」において策定したまちづくり計画に基づき、防潮堤の直背後を盛土して海が望める高台の土地を造成し、防災集団移転用地の確保に合わせて、市役所総合支所や公民館等の公益施設を集約して整備し、行政サービスの利便性向上を図ったほか、地区外からの集客が見込まれる観光物産交流館等の交流スペースを整備し、交流人口の拡大を図ったことにより、雄勝地域の賑わいの創出・地域活性化に寄与した。</p> <p>【良好な景観形成と民間活動への協力による賑わいの創出】 防潮堤工事においては、自然景観への調和を考慮し、自然石を模した化粧型枠を使用するとともに、民間主導の「海岸線の美術館」へ作画スペースを提供による賑わいの創出に寄与した。</p>

8. 事業を代表する写真及びキャプション



防潮堤とまちづくりの一体整備

9. 事業内容・添付資料

【事業概要】

雄勝漁港においては、東日本大震災により最大遡上高がT. P. +21mに達する津波が襲来し、町の8割の住宅が全壊するなど、壊滅的な被害を受けた。

このため、震災からの復旧・復興にあたり、数十年から百数十年に一度の比較的頻度の高い津波に対応できる防潮堤を整備することとし、災害復旧事業により、天端の高さがT. P. +9.7mとなる防潮堤整備を行ったものであり、令和5年1月に全ての工事が完了した。

防潮堤整備に伴い、従前のように海が見えなくなることから、雄勝地区の復旧・復興にあたっては、海が見える高台の土地を整備し、防災集団移転用地及び公益施設や商業施設、イベント広場等の交流スペースを整備する方針とし、平成25年度から、学識経験者及び地元の石巻市や県の関係機関で構成する「石巻復興まちづくり推進会議雄勝地域実務者会議」において協議を進め、防潮堤を利用したまちづくり計画を策定した。

この計画により、当該箇所の防潮堤については背面盛土を行う設計とし、防潮堤の直背後に整備した高台の土地に、市役所総合支所や公民館のほか、消防出張所、派出所等の公益施設を集約して整備し、また、海産物直売所や海鮮丼などが味わえる食事処を有する観光物産交流館及び雄勝硯伝統産業会館等の交流スペースを整備しており、観光物産交流館は、令和3年3月に「硯上の里 おがつ」として道の駅に認定されている。

工事の実施にあたっては、各関係機関が「雄勝(伊勢畑)地区工事調整会議」により工程調整を行ないながら工事を進め、まちづくりについては、防潮堤工事と並行して平成28年度末から造成工事を開始し、令和2年3月に観光物産交流館及び雄勝硯伝統産業会館の整備が完了し、また、令和3年2月に市役所総合支所や公民館等の整備が完了している。

【関係機関の連携によるまちづくり計画策定と防潮堤とまちづくりとの一体整備】

雄勝地区の復旧・復興にあたり、前記「石巻復興まちづくり推進会議雄勝地域実務者会議」において策定したまちづくり計画において、防潮堤の直背後を盛土して防潮堤と同等の高さの土地を整備することとしており、同計画に基づき、当該箇所の防潮堤においては、背面盛土を行う設計とした。

これにより、新たに海が望める高台の土地が整備され、市役所総合支所や公民館、消防出張所、派出所等の公益施設を集約したことにより、防災集団移転用地の住民をはじめとした雄勝地域の住民に対する公共サービスの利便性向上が図られた。

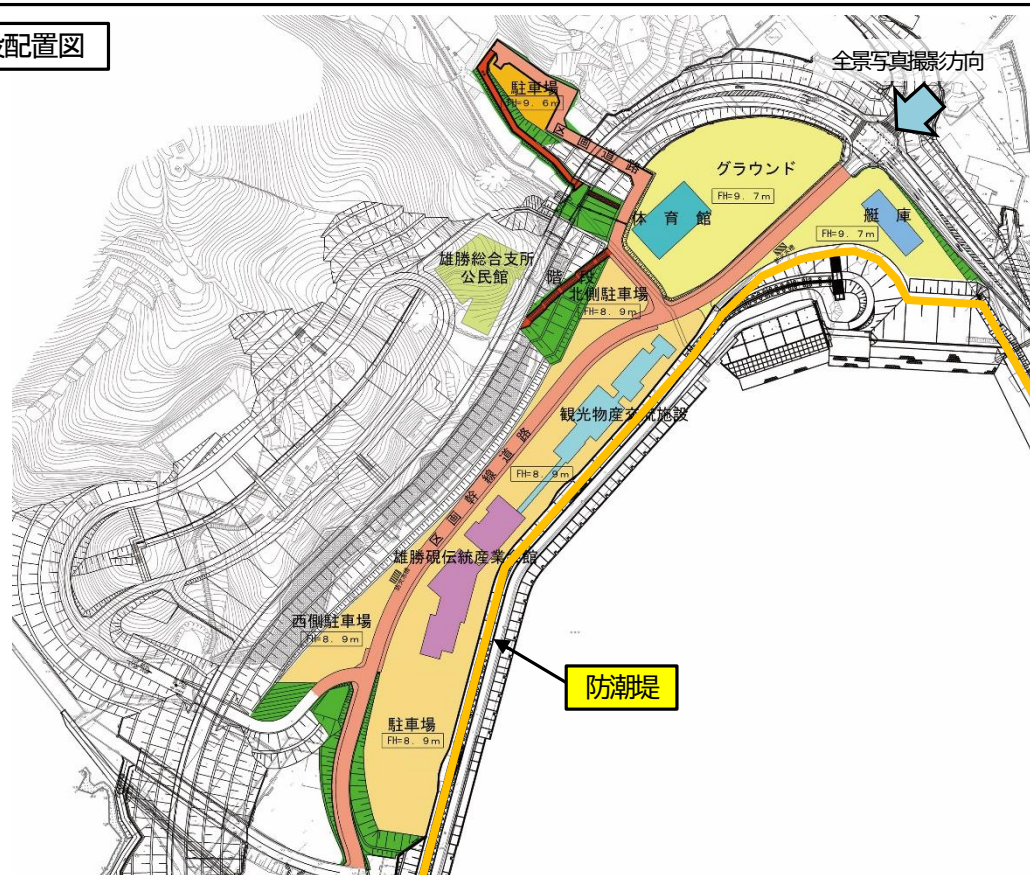
また、観光物産交流館等の交流スペースの整備により、地区外からの集客による交流人口の拡大に寄与しているほか、簡単な日用品の購入が可能となったため、雄勝地域の住民の生活を支援する施設としても機能している。

【良好な景観形成と施工の合理化】

防潮堤工事においては、無機質なコンクリートの防潮堤ではなく、自然景観への調和を考慮し、自然石を模した化粧型枠を使用するとともに、残存型枠とすることにより、施工の合理化を図っている。

9. 事業内容・添付資料

施設配置図



全景写真